Medisere SCHOOL http://www.medisere.co.jp

Let's CBT STARTBOOK 問題集「極」1(第４版)　訂正表

2026年９月15日発行

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	該当箇所	訂正前	訂正後
2	問002 解説１	配向力、誘起力、分散力の総称である。	配向力、誘起力、分散力などの総称である。
11	問011 選択肢２	永久双極子を有する分子間に作用する相互作用である。	分子間にはたらく反発力である。
11	問011 解説２	分散力は、瞬間双極子-誘起双極子間に働く引力であり、永久双極子間で働く相互作用ではない。	分散力は、分子間（主に瞬間双極子-誘起双極子間）に働く引力である。
11	問011 解説３	分散力は、瞬間双極子-誘起双極子間	分散力は、主に瞬間双極子-誘起双極子間
24	問024 解説２	１molの物質が標準圧力で生成するときのエンタルピー	標準圧力において、最も安定な元素の単体からその化合物１molが生じる反応のエンタルピー変化
30	問030 解説３	沸点上昇度は、NaCl水溶液よりグルコース水溶液の方が小さい。	沸点上昇度ΔT_bは次式のように表される。 $\Delta T_b = i \cdot K_b \cdot M$ （i：van't Hoff 係数、K_b：モル沸点上昇定数、M：溶質のモル濃度） よって、沸点上昇度は、NaCl 水溶液よりグルコース水溶液の方が小さい。
30	問030 解説４	$\Delta T_f = i \cdot K_f \cdot M$	$\Delta T_f = i \cdot K_f \cdot M$ （i：van't Hoff 係数、K_f：モル凝固点降下定数、M：溶質のモル濃度）
32	問032 解説	イオン結晶半径が大きくなるほど、モル導電率は大きくなる。	アルカリ金属のイオン半径が大きくなるほど、極限モル伝導率は大きくなる。
48	問048 問題文	溶解度積Kspはどれか。	溶解度積Kspに関する記述のうち、正しいのはどれか。
50	問050 問題文 及び 選択肢４	青緑色 Cu	黄緑色 Ba

50	問 050 解説	1　×　Li は深紅色を示す。 2　×　Na は黄色を示す。 3　×　K は紫色を示す。 4　○　Cu は青緑色を示す。 5　×　Ca は橙赤色を示す。	1　×　Li は赤色を示す。 2　×　Na は黄色を示す。 3　×　K は淡紫色を示す。 4　○　（解説削除） 5　×　Ca は黄赤（橙）色を示す。
73	問 073 選択肢 4	栓流	乱流
74	問 074 解説	血液試料がアンモニアアルカリ性で正常血液と比較してピンク色の場合、一酸化炭素ヘモグロビン（CO-Hb）の存在が確認できる方法である。～	血液試料が（解説削除）正常血液と比較してピンク色の場合、一酸化炭素ヘモグロビン（CO-Hb）の存在が確認できる方法である。（解説削除）